

【Ⅰ 若者が主催】

事業詳細

事業名	波多野菜央 小倉昭和館ライブ「ダスト・モンタージュ」		交付決定額	300,000円	
趣旨・目的	【日常の何気ない描写や感情を抱きしめる】をテーマに制作しているアルバム「ダスト・モンタージュ」の曲を届けるライブ。舞台は、悲惨な火事から奇跡の再生を遂げ多くの方の日常を彩ってきた、北九州市のシンボル「小倉昭和館」。この場所×私だからこそできるライブをすることで、北九州市内外のお客様に文化的な時間と体験を贈りたい。				
実施内容	演目・曲目等				
	バンド演奏・弾き語り・映像 モンタージュ/素晴しき日々/コバルトブルー/ハニー など全17曲				
	構成・出演者・主なスタッフ等 / 展示作品の種類・点数、主な作品名・出品者名等				
	波多野菜央/バンド4名/早瀬直久(ゲスト)/九州音響システム(音響)/ナット(撮影)				
実施日時	令和7年11月23日(日) 15:00開演		実施回数	1回	
実施会場 (会場住所)	小倉昭和館 (北九州市小倉北区魚町4-2-9)		参加人数	89人	
実施の成果	助成金活用による工夫や実施の成果				
	小倉昭和館という、北九州市のシンボルのひとつである劇場をお借りすることができ、とても意義のある公演を行うことができました。お客様の中には、火事からの再建後初めてお越しいただいた方も多く、県外からお越しになった方もいらっしゃいました。スクリーンを使用している表現も取り入れました。また、音響システムも不足なく導入することができ、ハイクオリティなパフォーマンスをお届けできました。バンドメンバーの協力やゲストの出演を仰ぐこともでき、バラエティに富んだステージにすることができました。				
	活動の様子				
	公演に向けて、市内のみならず、福岡や下関、東京の福岡に縁があるお店や場所などにポスターやフライヤーを設置していただきました。その様子を、それぞれのお店や施設の紹介も併せてSNSにアップしました。ライブ情報をリリースした8月あたりからは地域のイベントやラジオ番組などに多く出演させていただき、沢山の温かい繋がりの中PRをさせていただきました。公演もバンド構成、弾き語り、ゲストとのデュオなど、約2時間の中でお客様に充実といっただけの内容でお届けしました。バンドメンバーは全員福岡県内で活躍する20代。運営スタッフはまちづくりを主体的に考え、行動している北九州市立大学地域創生学群地域創生学類ボン・ジョーノ実習の現役生とOB・OGの方々にご協力いただきました。カメラマンは門司のスタジオFU.に所属するタイ出身のナット氏。撮った映像は編集した後SNSへアップし、公演の様子を発信・記録します。				
					
最も注力した 年齢層(計画)	18～39歳	参加者等の主な 年齢層(実績)	40歳以上	18～39歳	6～11歳
(共催・後援・協賛 関係機関がある場合) 名称と役割					
その他特記事項					